

学校だより

温故知新

恵那市立岩邑中学校

学校の教育目標

確かな学力 豊かな心 逞しい体

令和5年2月1日

『 雪に耐えて梅花麗し 』

校長 丸山 成之

梅のつぼみが膨らみ始めたというニュースが聞かれる季節になりました。

「雪に耐えて梅花麗し」という言葉があります。西郷隆盛が詠んだ漢詩の一部です。最近では、広島カープで引退した黒田博樹さんがこの言葉を座右の銘としていたそうです。

冬の雪や厳しい寒さに耐えるからこそ、梅の花は春になると美しい花を咲かせるという意味です。さらに言うと、大きく成長するには苦しさに耐えることが必要だということなのです。

さて、中学生である皆さんにとって、中学校生活は楽しいものであってほしいと思います。毎日、学校へ行くのが楽しみだと言って通ってほしいものです。

しかしながら、必ずしも皆さんの毎日は楽しいことばかりではないとも思います。勉強が苦しいと思う人もいるでしょうし、活動の取り組みが厳しいと思う人がいるかもしれません。

そんなときに、この言葉を思い出してもらいたいかもしれません。

「雪に耐えて梅花麗し」

今の苦しきや厳しきに耐えてこそ、きっと**自分は大きく成長できる**。今日の勉強をがんばれば、将来きっと自分は大きく花を咲かせることができる。今日の活動をがんばれば、自分は強くなれる。そう信じてがんばってほしいのです。

もちろん世の中には**我慢してはいけないこと、耐えてはいけないこともあります**。**この見極めは大切です**が、我慢すること、耐えることが将来の自分にとって必要だと判断できたら、がんばることも必要です。

では耐えるためには何が必要か。それは、目的ではないでしょうか。

自分が**何のために学ぶのか**。自分が**何のために活動に取り組むのか**、その目的をはっきりさせてみてください。その必要性が理解できたならば、耐えること、苦しいことから逃げずに努力することができると思います。